



第51回

学藝員のススメ

博物館の学芸員が、あれこれ語り倒すコーナー。



秋葉山の 「火の用心」掛軸

大野 一郎

「火の用心」、皆さん火の元に注意していますか？博物館では1月13日から、厚木の人たちが火災に遭わないよう祈願した、秋葉山（静岡県）の神仏などの企画展を開催します。

市域には、仲間で集まり参拝するグループ「講中」が26も確認されていて、講の代表者がお参りし、お札を配る代参という習俗も盛んでした。展示の中心となるのは市内の収集家・加藤芳明さんが集めた100点以上の

「火の用心」の掛け軸やお札。ここには書としての魅力だけでなく、火伏信仰の拠点・秋葉山の原点が隠されています。お札はいつ頃から発行され、誰が書き始めたのかなど謎がいっぱいです。

掛け軸、お札に描かれた神様仏様は天狗、三尺坊、飯綱権現など大勢が登場。どんな神仏がいるのか、そしてその容貌はどうか。展示のスタートをお楽しみに。



展示品で最古の「火の用心」。秋葉山39世逸堂（1822年没）の揮毫



企画展の詳細はこちら▲